

2018年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目 考古学コース

※解答は別紙（縦・横書）

問1 大学院において自分自身が研究しようとする分野・テーマについて、500字以内で述べなさい。

問2 次の用語の中から、任意の5つを選び、それぞれ200字以内で的確に説明しなさい。

なお、各解答欄の（ ）内に選んだ用語を記入すること。

リモート・センシング	山内清男	白保竿根田原洞穴遺跡	押出遺跡
ギリグア	シャブティ	泉靖一	高根木戸貝塚
大藤原京説と日本都城	有樋尖頭器	江上波夫と騎馬民族征服理論	食性分析
張光直 (K.C.Chang)	考古学の非破壊調査	サンボー・プレイ・クック遺跡群	葬送コーン
ヒエラコンポリス	真福寺貝塚	カール・ウィットフォーゲルと征服王朝理論	個体別資料分析

問3 次の2つの論題について、それぞれ論述しなさい。

- (1) 考古遺物からみた社会の階層性について、自身の研究フィールドを中心に論じなさい。
- (2) 日本人による考古学研究の成果と意義に関して、現代の考古学における世界的潮流の中で論じなさい。

[illegible][illegible][illegible]
$$\frac{3}{6}$$

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——